

事務事業評価表

○基礎情報

| 課名 | | 広域事業政策課 | 作成責任者 | 常勤 | | その他 | | | 時間外勤務時間 | |
|------|----|------------------------|-------|-----|-------------|-----------|-------|----------|---------|-----------|
| 施策目標 | 55 | 国・県・他の自治体と連携し施策の効果を上げる | 野崎 栄 | 職員数 | 再任用フルタイム職員数 | 再任用短時間職員数 | 臨時職員数 | 非常勤嘱託職員数 | 総時間 | 一人あたりの月平均 |
| | | | | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,013 | 14.1 |

1 施策指標と実績

| 施策指標名 | 第2次実施計画の現状値 | 目標値 (27年度) | 実績値 | | | |
|--------------------|-------------------------|---------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| | | | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
| 広域連携に向けて取り組んだ事業の件数 | 16件 | 32件 | 20件 | 24件 | 28件 | 32件 |
| 国や県が事業主体の道路の整備延長 | さがみ縦貫道路1.9km 藤沢大磯線4.2km | 34.0km□6.5km | 12.0km 4.2km | 17.1km 4.2km | 34.0km 4.2km | 34.0km 4.2km |
| 相模川左岸の整備延長 | 1.55km | 2.4km | 1.55km | 1.67km | 1.75km | 1.75km |

評価の見方

- S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった
- A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった
- B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
- C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める
- D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない
- E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
- Z 未着手事業
- 実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった

2 事業実績(平成27年度)

| No. | 事務事業名 | 事務事業の目的・目指すべき成果 | 事務区分 | 実績 | | | 従事者数 | 会計区分 | H27予算 | 事務事業の指標名 | H27目標値 | H27実績値 | 評価 | 業棚選定 |
|-----|------------------------------|---|------|------|------|------|------|------|---------------------|------------|--------|--------|------|------|
| | | 何を・誰を(対象) どうする(生まれる成果) | | 業務計画 | 広域連携 | 行政改革 | | | H27決算 (千円) | | | | | |
| 1 | 新湘南国道(Ⅱ期)の整備促進 | 国道134号及び国道1号の慢性的な交通渋滞の解消を図り、良好な交通環境を得るために、残る新湘南国道Ⅱ期事業の早期整備の実現を図る。 | 自治事務 | | | | 0.02 | 一般 | 0 ----- 0 | 関係機関への要望回数 | 10回 | 10回 | B | |
| 2 | 新湘南バイパス料金無料化の促進 | 新湘南バイパス料金無料化及び引下げにより、通過交通車両を市内の一般道路から、新湘南バイパスへ誘導することにより渋滞緩和を図る。 | 自治事務 | | | | 0.08 | 一般 | 0 ----- 0 | 関係機関への要望回数 | 10回 | 10回 | B | |
| 3 | 藤沢大磯線の整備促進 | さがみ縦貫道路とともにアクセス道路の整備は必須であることから近隣市町との連携を図り、関係機関へ早期整備を要望する。 | 自治事務 | | | | 0.07 | 一般 | 0 ----- 0 | 関係機関への要望回数 | 20回 | 20回 | B | |
| 4 | 新湘南国道並びに藤沢大磯線(湘南新道)新設改良促進協議会 | 茅ヶ崎市の経済発展や交通環境向上のため協議会構成市町と連携を図り、関係機関へ早期整備を要望する。 | 自治事務 | | | | 0.09 | 一般 | 100 ----- 100 | 関係機関への要望回数 | 5回 | 5回 | S | |
| 5 | さがみ縦貫道路の整備促進 | 茅ヶ崎市の経済発展や交通環境向上のため近隣市町との連携を図り、関係機関へ早期整備を要望する。 | 自治事務 | | | | 0.06 | 一般 | 0 ----- 0 | 関係機関への要望回数 | 20回 | — | 実績なし | |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----------------------|--|------|---|--|--|------|----|---------------------------|-------------------|------|------|---|--|
| 6 | 首都圏中央連絡自動車道建設促進期成同盟会 | ミッシングリンクを防ぎ、交通環境等の向上のため、協議会構成市町と連携を図り、関係機関へ早期整備を要望する。 | 自治事務 | | | | 0.02 | 一般 | 40 ----- 30 | 関係機関への要望回数 | 5回 | 5回 | B | |
| 7 | 相模川の整備促進 | 右岸側に比べ左岸側の築堤整備が遅れていることから、近隣市町との連携を図り、関係機関へ早期整備を要望する。 | 自治事務 | ● | | | 0.35 | 一般 | 120 ----- 120 | 関係機関への要望回数 | 20回 | 15回 | A | |
| 8 | 小出川の改修整備促進 | 台風や集中豪雨時の雨水放流先である小出川について、自然環境に配慮した整備や河床掘削、草刈等を関係機関へ要望する。 | 自治事務 | | | | 0.09 | 一般 | 0 ----- 0 | 関係機関への要望回数 | 10回 | 10回 | S | |
| 9 | 千ノ川の流路整備、浚渫事業 | 千の川の堤防整備は完了したが、流域住民の安心安全のため、河床掘削や草刈等を県へ要望し、流路確保を図る。 | 自治事務 | | | | 0.09 | 一般 | 0 ----- 0 | 関係機関への要望回数 | 5回 | 5回 | S | |
| 10 | 北部地域道路整備事業 | 県立茅ヶ崎里山公園の外周道路や北部地域地元要望道路について、生活環境や利便性の向上のため関係機関や地元自治会と調整し、早期整備を図る。 | 自治事務 | ● | | | 0.23 | 一般 | 31,547 ----- 31,416 | 事業の進捗状況 工事延長＝m | 160m | 133m | S | |
| 11 | 県立茅ヶ崎里山公園整備の促進 | 早期整備を県に要望するとともに、整備後の有効的な活用等について県や公園協会、地域団体協議を行い北部地域の活性化を図る。 | 自治事務 | | | | 0.05 | 一般 | 15 ----- 8 | 関係機関への要望回数 | 5回 | 5回 | B | |
| 12 | 国道1号電線地中化整備の促進 | 国道1号の電柱や電線の地中化により、歩道幅や段差、見通し等が改善され、歩行者の安全が確保されるよう早期整備を要望する。 | 自治事務 | | | | 0.04 | 一般 | 0 ----- 0 | 国・関係機関への要望活動回数 | 10回 | 6回 | A | |
| 13 | 中海岸寒川線の整備促進 | さがみ縦貫道路及び藤沢大磯線の供用に伴い、西久保、香川付近の交通渋滞も懸念され、また、県央への路線が不足していることから早期整備を要望する。 | 自治事務 | | | | 0.02 | 一般 | 0 ----- 0 | 県・関係機関への要望活動回数 | 10回 | 6回 | C | |
| 14 | 県道の歩道及び交通安全施設の整備促進 | 歩行者が安全で利用できるように歩道及び交通安全施設の早期整備実現を図る。 | 自治事務 | | | | 0.20 | 一般 | 0 ----- 0 | 関係機関への要望回数 | 5回 | 10回 | S | |
| 15 | 関東国道協会事務 | 茅ヶ崎市の経済発展や交通環境向上のため協議会構成市町と連携を図り、関係機関へ早期整備を要望する。 | 自治事務 | | | | 0.02 | 一般 | 40 ----- 36 | 関係機関への要望回数 | 5回 | 5回 | B | |
| 16 | 小出川及び国道の道路の美化活動の促進 | 国や県と協力して、地域住民、企業等の美化活動をサポートし、道路・河川の美化を図る。 | 自治事務 | | | | 0.05 | 一般 | 0 ----- 0 | 広報・収集ゴミ回収回数 | 28回 | 17回 | A | |
| 17 | 北部地区活性化事業 | 多くの人に北部地区(芹沢)へ来ていただき海だけではなく茅ヶ崎の良さを知っていただくため、北部のまちおこし・活性化を図る。 | 自治事務 | | | | 0.06 | 一般 | 52 ----- 52 | 事業実施回数 | 10回 | 7回 | A | |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|----|-------------------------|--|------|---|---|---|------|----|---------------------|---|--------------------|-------------------|---|---|
| 18 | さがみ縦貫道路・藤沢大磯線整備に伴う関連事業 | さがみ縦貫道路や藤沢大磯線の整備に伴う地域からの要望の実現に向け関係機関や関係各課と協議を行うとともに地域との調整を行う。 | 自治事務 | ● | ● | | 0.53 | 一般 | 0 ----- 0 | 関係機関との協議 地元との調整回数 | 30回 | 30回 | B | |
| 19 | 北部地域道路整備関連事業 | 地域住民の生活環境向上のため、北部地域の道路整備において取得した事業用地の維持管理を行う。 | 自治事務 | | | | 0.07 | 一般 | 267 ----- 227 | 実施回数 | 2回 | 2回 | S | |
| 20 | 相模川左岸新田・萩園地区の堤外地土地利用の検討 | 関係機関や関係各課と連携を図り、土地利用を検討する。 | 自治事務 | | | | 0.06 | 一般 | 0 ----- 0 | 関係機関・ 関係各課との調整回数 | 5回 | 2回 | C | |
| 21 | 国・県の施策・制度予算に関する要望調整事務 | 本市の施策の推進と当面の課題解決を図るため、国・県の施策や予算等に関する要望を行う。 | 自治事務 | | | | 0.21 | 一般 | 0 ----- 0 | 要望の実施回数 | 2回 | 2回 | S | |
| 22 | 地域活性化施策支援事業 | 各課の地域活性化施策を支援するため、(財)地域活性化センターで行う支援事業を活用する。 | 自治事務 | | | | 0.06 | 一般 | 140 ----- 140 | 支援事業の活用 (支援事業の周知) | 1件以上/年 (4件以上/年) | 2件/年 (6件/年) | C | |
| 23 | 湘南広域都市行政協議会事務 | 藤沢市及び寒川町との連携・協調を図るため、各種情報交換を行い、広域連携の可能性を検討する。 | 自治事務 | ● | ● | ● | 1.34 | 一般 | 101 ----- 101 | 湘南広域都市行政 協議会の開催回数 | 年6回 | 4回 | A | ● |
| 24 | 旅券発給事務 | 県から権限移譲を受け、身近な場所で手続を可能とする。 | 自治事務 | | | | 0.07 | 一般 | 0 ----- 0 | 調整会議の開催回数 | 年4回 | 2回 | A | |
| 25 | 湘南地域市町連絡協議会事務 | 県政総合センターを中心とした5市3町の連携・協調を図るため、各種情報交換を行う。 | 自治事務 | | | | 0.04 | 一般 | 0 ----- 0 | 会議等の開催回数 | 3回 | 1回 | C | |
| 26 | 湘南地域首長懇談会事務 | 県と湘南地域の連携を深め、諸課題の効果的な解決を図るため、県知事と湘南地域の首長の懇談会において意見交換を行う。 | 自治事務 | | | | 0.16 | 一般 | 0 ----- 0 | 開催回数 | 1回 | 1回 | S | |
| 27 | 平塚市・茅ヶ崎市広域連携推進協議会事務 | 平塚市との連携・協調を図るため、各種情報交換を行い、広域連携の可能性を検討する。 | 自治事務 | | ● | | 0.16 | 一般 | 0 ----- 0 | 協議会等の開催回数 | 年2回 | 年2回 | B | |
| 28 | 厚木基地騒音対策事務 | 厚木基地航空機訓練に伴う騒音対策のための活動を行う。 | 自治事務 | | | | 0.22 | 一般 | 94 ----- 80 | 航空機騒音に関する 苦情件数 | 30件 | 93件 | C | |
| 29 | 権限移譲事務 | 権限の移譲により、茅ヶ崎市の自治体としての自主性を高め、より効率的な事務執行を行うことができるようにする。また、地方自治法の改正を受け中核市移行に向けた検討を行う。 | 自治事務 | ● | | | 0.70 | 一般 | 6 ----- 5 | 移譲希望事項の申し 出件数 (中核市移行基本方針及び基本計画策定) | 年2件 (8月及び3月) | 年0件 (10月及び未策定) | C | |
| 30 | 特例市市長会事務 | 構成市間の連携のもとに行財政の円滑な運営を図る。 | 自治事務 | | | | 0.82 | 一般 | 381 ----- 365 | 会議への出席 | 年4回 | 年4回 | S | |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|----|---------------|---|------|---|---|---|------|----------|------------------|---------------|-----|-----|---|---|
| 31 | 寒川町との広域連携推進事務 | 寒川町との効率的な行政運営を推進するため、課題の整理を行い、広域連携事業を実施に向け検討する。 | 自治事務 | ● | ● | ● | 0.70 | 一般 | 7,674 6,954 | 調査研究に取り組んだ事務数 | 2事業 | 3事業 | S | ● |
| 32 | 災害応急対策活動 | 市域に地震・津波等による大規模災害が発生した場合に、被害を軽減するため応急対策活動を課として迅速、的確に対処する。 | 自治事務 | | | | 0.07 | 一般 | 0 0 | - | - | - | - | |
| 33 | 庁内共通事務 | - | 自治事務 | | | | 0.25 | 一般 | 102 47 | - | - | - | - | |
| 合計 | | | | | | | 7.00 | 予算 決算 | 40,679 39,681 | | | | | |

3 実施計画事業の総括評価

| 人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析 | |
|--|--|
| <p>広域事業政策課の第2次実施計画の事業数は、「災害応急活動」「庁内共通事務」を除き31事業である。これらを指標の達成度及び事業の実施効果から見ると、もっとも多かったのは、「S」の10事業であり、以下「B」8事業、「A」6事業、「C」6事業となっている。</p> <p>指標の達成状況に着目すると、80％以上達成できた事業が18事業、達成できなかったものは12事業であり、目的達成のために予定していた活動を一定の範囲で実施できたが、その反面、達成できなかった活動もある。しかしながら、広域事業政策課の業務は、国県の関係機関や関係団体、近隣市町や庁内関係課との協議・調整が多くを占め、特定の活動（特定の指標）の回数等で判断することについては議論の余地が残る。</p> <p>一方、事業の成果に着目すると、成果があった事業が16事業、今後見込める事業が14事業である。広域事業政策課の事業は、直接事業展開し成果を上げるというよりか、国、県、近隣自治体等との協議・調整が多く、成果がすぐには顕在化しないものが多いため、「今後見込める」が多い評価にならざるを得ないが、目に見える成果の実現に向けて、継続して進めていく必要がある。</p> <p>なお、「権限移譲事務」については、中核市移行に向けて、「地方分権フォーラム」の開催、中核市移行の基本方針となる「中核市への移行に関する基本的な考え方」の策定、県市連絡調整会議や庁内検討会議の設立及び開催、移譲事務に関するヒアリングなど具体的な検討作業を行った。</p> <p>「地域活性化施策支援事業」については、(財)地域活性化センターの支援事業の活用をするため、各支援事業に関する情報提供等の周知を行った。平成27年度については2件申請し、採択には至らなかったが、引き続き、各課かいが積極的に活用できるよう適宜情報提供等を行っていきたい。</p> <p>職員の時間外勤務に着目すると、総時間で1,013時間、一人当たりに換算すると月平均14.1時間であり、全庁平均を下回っている。広域事業政策課の事業には、課内で完結する業務はほぼなく、関係機関・団体との調整に時間を要すが、人的資源の効果的な配分や事務の効率化、実施手法の改善を図ることで、引き続き時間外勤務の縮減に取り組む必要がある。特に、今後中核市移行に向けた検討を進めていくにあたっては、更なる事務改善を図ることが重要となる。</p> | |

4 新たな行政改革重点推進事業

| No. | 事務事業名 | 重点事項名 | 取り組みの概要 |
|-----|-------|-------|---------|
| 1 | 該当なし | | |